

**質問：**南小学校区から公立幼稚園がなくなると地域の子供は私立に行くことになってしまい、子供や親同士のつながりがなくなるのではないか

**回答：**既に、公立幼稚園に通う子どもの割合は、全体の約20%程度と非常に少数となっている状況で、大半は公私の保育所や私立幼稚園に通っています。公立幼稚園と地域とのつながりは、ごく一部に限定されています。

今回の再編を契機に、今後、公立・私立や、施設の種別に関わらず就学前施設の子ども達が地域や小学校とのつながりを構築していくための取り組みが必要と考えています。

**質問：**南小学校区で、特別支援教育、統合保育を実施、実際に受け入れを実施している保育施設の場所。南幼稚園、こばと保育所以外で。支援を要する乳幼児はどれくらいいるか？

**回答：**私立幼稚園の二葉幼稚園（梅ノ木2丁目）で、園とご相談のうえ、支援を要する児童の受け入れを行っています。

今後は、南部こども園、新設のこばと保育所で継続して支援するとともに、順次、私立の幼稚園や保育所での受け入れ拡大を図っていきたいと考えています。支援を要する乳幼児の数は、平成30年度で特別支援教育68人、統合保育154人（うち私立保育所3人）、私立幼稚園では平成29年度データで34人となっています。